

第31回サザンレク片添山口県知事杯ビーチバレー大会2024

大会競技規則

【共通】

1. 種目は、男子の部(2人制)、女子の部(2人制)、男女混合の部(4人制)とする。
2. コートは、16m×8mの広さである。
3. ネットの高さは、男子の部2.35m、女子の部2.24m、男女混合の部2.25m。
4. ボールはビーチバレー用を使用。
5. 各チームは30秒間のタイムアウトを1回だけ要求することができる。
6. 得点はサービス権に関係なく、味方のプレー動作によってラリーに打ち勝ったり、あるいは、相手競技者が犯した反則に審判が判定を下した場合である。
7. チームは得点合計が7点の倍数になるたびにコートスイッチをする。
8. 最初に21点(23点打ち切り)を得たチームが勝者になる。(1セットマッチ)
9. サーバーは、ボールを打った瞬間、あるいはジャンプサービスをするために踏み切ったとき、コート(エンドラインを含む)やサービスゾーン外の地面に触れてはならない。また、サーバーの足はエンドラインの下にもぐってはいけない。
10. サーバーは、ファーストレフリーがサービスのホイッスルをした後、5秒以内にボールをヒットしなくてはならない。
11. チームはネット越しに返球するために最大3回のヒットが許される。これを超えるとフォアヒットの反則となる。
12. ボールは、明瞭に打たなければならない。接触中、明らかにボールが止まるようなプレーは反則。
13. 2人の選手が同時にボールに触れてもよい。
2人のチームメイトが同時にボールに触れた場合、(ブロックを除き)2回のヒットとして数える。
14. 選手は自チームのフリープレー空間内であればどの高さでもアタックヒットをすることができる。
15. ボールはネット上を通過するときネットに触れてもよい。
16. その他のルールについては、(公財)日本バレーボール協会のビーチバレーボール競技規則に準ずる。

【2人制】

1. チームの最初のヒットでは、オーバーハンドの指の腹を使用して行わなければ、1つの動作中で連続して接触してもよい。チームの最初のヒット中にオーバーハンドの指の腹を使うプレーの場合は、1つの動作中であってもボールは指/手の連続的な接触をしてはならない。
2. サービスの実行についてトスを上げるかボールを放つ動作は1回だけ許される。ボールを両手の中で動かしてもよい。
3. ブロックでのボールへの接触はチームの1回のプレーとして数えられる。ブロックしたチームはブロックでのボール接触後さらに2回のプレーができる。
4. アタックヒットの反則は選手が指を開いたティッププレーや指を用いてティップをする際に指を固定し合わせずにアタックヒットを完了したとき。
または、アタックヒットの反則は選手がオーバーハンドパスで両肩に対し直角でない方向にアタックヒットを完了したとき。
自チームの選手へボールをセットアップした場合は例外となる。

【4人制】

1. チームにおける第1回目のプレーでは、それがオーバーハンドで指を用いたプレーであっても(強打されたボールでなくても)、ボールが身体の2カ所以上に連続して当たっても、1つの動作中のものであれば許される。
 2. それぞれのチームのサービス順は男女交互に行わなければならない。そのときセットの最初のサーバーは男女どちらが先にサービスを行ってもかまわない。
 3. ブロックへの接触はそのチームの1回目のプレーとして数えられず、チームはその後さらに3回のプレーができる。
 4. アタックヒット中のティッピングはボールへの接触が明瞭であり、つかんだい、投げたりしなければ許される。
- ※ 審判は原則として相互審判で実施するものとする。

各チームとも笛を用意して来てください。